

（3）保育所・幼稚園

1）施設概要

① 施設一覧

■ 保育所

市には、市立保育所（認可保育所）が6園、へき地保育所が3園、私立保育所（認可保育所）が59園あります。

市立保育所（認可保育所）のうち、3園は子育て支援センターを併設しています。

市立保育所全体の認可定員は445人で、平成22年4月時点の入所児童数は448人、入所率は約101%となっています。へき地保育所の定員は110人で、平成22年4月時点の入所児童数は32人となっています。

私立保育所（認可保育所）は定員4,435人に対して、入所児童数が4,360人、入所率は約98%となっています。

図表 施設一覧（市立保育所）

（平成22年4月現在）

	施設名称	住所	建築年度 (年度)	延床面積 (㎡)	入所児童数(人)							認可定員 (人)	併設施設 子育て 支援センター
					0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計		
公設公営	1 大黒保育所	稲荷町2番25号	昭和56	781.31	5	15	16	26	23	14	99	100	●
	2 早岐保育所	早岐一丁目5番21号	昭和41	377.58	3	10	12	10	13	18	66	60	●
	3 上相浦保育所	上相浦町5番13号	昭和55	608.31	3	11	16	8	15	14	67	60	●
公設民営	4 吉井保育所	吉井町大渡54番地1	昭和48	623.23	1	10	8	10	9	14	52	60	
	5 楠栖保育所	小佐々町楠泊591番地	昭和62	759.66	7	11	11	13	17	18	77	75	
	6 小佐々保育所	小佐々町臼ノ浦73番地5	昭和58	701.98	3	13	20	16	21	14	87	90	
認可保育所 計			—	3,852.07	22	70	83	83	98	92	448	445	3施設
へき地保育所	7 浅子保育所	浅子町188番地14	平成元	210.66	0	0	7	3	0	0	10	40	
	8 高島保育所	高島町697番地	昭和37	162.00	0	1	2	3	5	0	11	30	
	9 宇久ふたば保育所	宇久町神浦2795番地	昭和63	412.42	0	1	3	4	3	0	11	40	
へき地保育所 計			—	785.08	0	2	12	10	8	0	32	110	0施設
合計			—	4,637.15	22	72	95	93	106	92	480	555	—

※入所児童数は市外入所児童(受託)を含む。

※へき地保育所: 児童福祉法に規定する保育所を設置することが著しく困難であると認められる地域に設置される施設であって、佐世保市が認め指定した保育所のことを言います。

■ 幼稚園

市には、市立幼稚園が7園、私立幼稚園が31園あります。

市立幼稚園全体の認可定員は365人で、平成22年4月時点の園児数は237人、入園率は約65%となっています。一方、私立幼稚園は定員5,275人に対して、園児数が3,149人、入園率は約60%となっています。

図表 施設一覧（市立幼稚園）

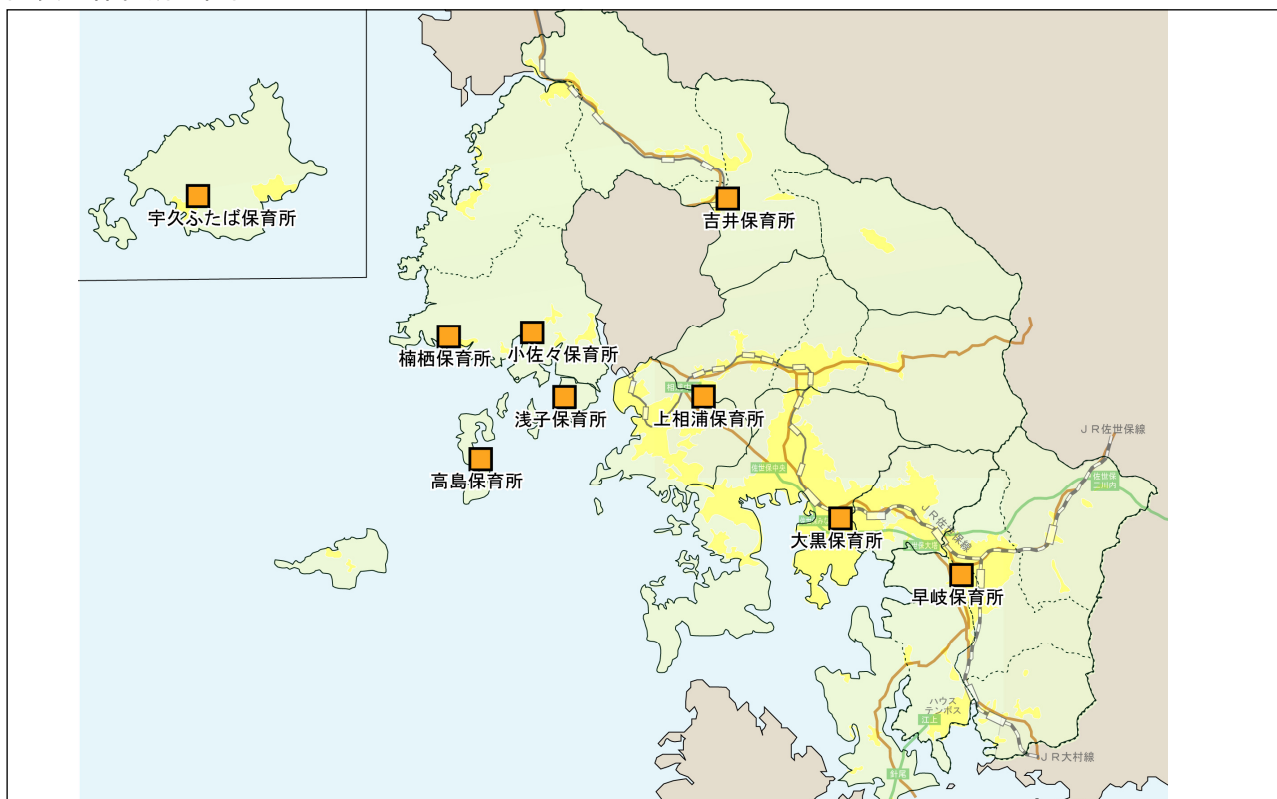
（平成22年4月現在）

施設名称	住所	建築年度 (年度)	延床面積 (㎡)	園児数(人)				認可定員 (人)
				3歳	4歳	5歳	計	
1 三川内幼稚園	口の尾町698番地	昭和51	432.00	—	4	9	13	35
2 針尾幼稚園	針尾中町1863番地	昭和48	372.00	—	4	8	12	35
3 天神幼稚園	天神三丁目13番18号	昭和42	552.00	—	22	26	48	70
4 白南風幼稚園	山祇町387番地	平成15	647.00	15	31	35	81	85
5 中里幼稚園	中里町356番地	昭和46	528.00	—	24	27	51	70
6 世知原幼稚園	世知原町矢櫃238番地1	昭和54	603.00	—	3	7	10	35
7 小佐々幼稚園	小佐々町臼ノ浦84番地16	昭和58	663.00	—	11	11	22	35
合 計		—	3,797.00	15	99	123	237	365

② 配置状況

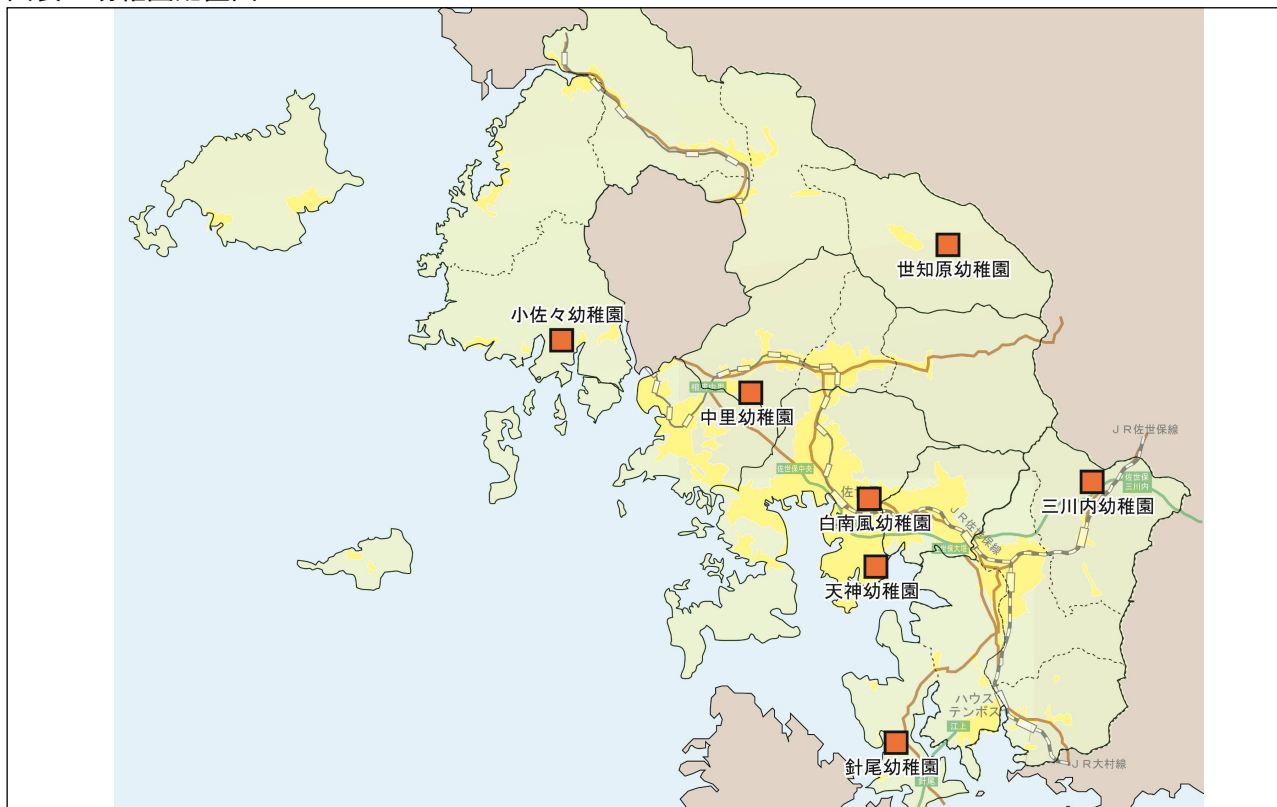
保育所は、市内に9施設を配置しています。

図表 保育所配置図



市立幼稚園は、市内に7施設を配置しています。

図表 幼稚園配置図



2) 実態把握

① 建物状況

■ 保育所の建物総合評価

平成22年度における保育所8園（早岐保育所を除く）の建物総合評価を行いました。

図表 建物状況（平成22年度）

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応						④環境対応			⑤維持管理				
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費
1	大黒保育所	昭和56	781	—	29	平成15	7									2,966	2,065	2,733			
2	早岐保育所	建替え中（平成24年6月より新園舎）																			
3	上相浦保育所	昭和55	608	—	30	—	30									2,091	2,339	3,176			
4	吉井保育所	昭和48	623	—	37	—	37									1,747	0	57			
5	楠栖保育所	昭和62	760	—	23	—	23									2,241	0	155			
6	小佐々保育所	昭和58	702	—	27	—	27									2,257	0	440			
7	浅子保育所	平成1	211	—	21	—	21									148	38	150			
8	高島保育所	昭和37	162	×	48	—	48									250	69	0			
9	宇久ふたば保育所	昭和63	412	—	22	—	22									179	116	150			
合計・平均			4,260													11,879	4,628	6,860	—	—	—

①、③、④の記載例	実施済み⇒ ○ 未実施⇒ × 不要⇒ —	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備等
-----------	----------------------------	--

- ※ ④環境対応については、用途の特性上、個別での検討が必要となるため、評価対象外としています。
- ※ 公設民営、へき地保育所の⑤維持管理の光熱水費は委託先実績より記載しています。
- ※ 施設の運営形態により、市が直接負担する維持管理費が異なるため維持管理費の評価は行っていません。

保育所8園のうち、高島保育所は、旧耐震基準の建物であり耐震安全性が確保されていないことから、耐震化と老朽化対策が必要です。【パターン①】

上相浦保育所及び吉井保育所は、耐震診断によって耐震安全性が確認されています。しかし、築30年以上経過しており老朽化が進行しているため、改修等の老朽化対策が必要な施設となっています。【パターン②】

楠栖保育所等4園は、いずれも新耐震基準の建物ですが、築20年以上が経過し、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。（パターン③）

大黒保育所は、築29年を経過していますが、平成15年に大規模改修を実施し、現在は特に問題はありませぬ。

図表 建物総合評価結果

評価	パターン①	パターン②	パターン③
	耐震性 老朽化	老朽化	今後 老朽化
評価	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>
施設当	<p>該当施設 建築年度 高島保育所 昭和37</p> <p>< 1 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 上相浦保育所 昭和55 吉井保育所 昭和48</p> <p>< 2 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 楠栖保育所 昭和62 小佐々保育所 昭和58 浅子保育所 平成1 宇久ふたば保育所 昭和63</p> <p>< 4 施設 ></p>
コメント	<p>・高島保育所は旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・耐震安全性は確保されているものの、築30年以上と老朽化が進行しており、改修工事などの検討が必要です。 ・上相浦保育所は平成23年度に大規模改修を行っています。</p>	<p>・小佐々保育所等は新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>

評価	パターン⑤
	問題なし
評価	<p>・特に問題がない施設 (大規模改修実施済み施設も含む)</p>
施設当	<p>該当施設 建築年度 大黒保育所 昭和56</p> <p>< 1 施設 ></p>

■ 幼稚園の建物総合評価

平成22年度における幼稚園7園の建物総合評価を行いました。

図表 建物状況（平成22年度）

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応			⑤維持管理						
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	大規模改修後または直近の築年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	三川内幼稚園	昭和51	432	—	34	—	34	特定の利用者（幼児とその保護者）が利用する施設のため、バリアフリー評価の対象としない。	—	—	—	—	—	—	—	243	26	1,082	幼稚園では、年次計画により施設改修等を行っているため、単年度での維持管理費の評価は行っていません	—	—	—
2	針尾幼稚園	昭和48	372	—	37	—	37		—	—	—	—	—	—	—	160	26	1,850		—	—	—
3	天神幼稚園	昭和42	552	—	43	平成22	0		—	—	—	—	—	—	—	413	126	7,609		—	—	—
4	白南風幼稚園	平成15	647	—	7	—	7		—	—	—	—	—	—	—	1,141	465	519		—	—	—
5	中里幼稚園	昭和46	528	—	39	—	39		—	—	—	—	—	—	—	235	124	2,844		—	—	—
6	世知原幼稚園	昭和54	603	—	31	—	31		—	—	—	—	—	—	—	279	231	1,072		—	—	—
7	小佐々幼稚園	昭和58	663	—	27	—	27		—	—	—	—	—	—	—	435	306	2,481		—	—	—
合計・平均			3,797												2,906	1,304	17,457	—	—	—		

①、③、④の記載例	実施済み⇒	○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備等
	未実施⇒	×	
	不要⇒	—	

- ※ ④環境対応については、用途の特性上、個別での検討が必要となるため、評価対象外としています。
- ※ 幼稚園では、年次計画により施設改修等を行っているため、単年度での維持管理費の評価は行っていません。

三川内幼稚園等4園は、耐震安全性を確認しておりますが老朽化対策のため、随時改修を実施しています。【パターン②】

小佐々幼稚園は、新耐震基準の建物ですが、築20年以上が経過しているため、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。【パターン③】

天神幼稚園は、平成22年度に大規模改修を実施しており、また、白南風幼稚園は平成15年度に新設した施設のため、現状では特に問題はありません。【パターン⑤】

図表 建物総合評価結果

	パターン② 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン⑤ 問題なし																			
評価	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・特に問題がない施設 (大規模改修実施済み施設も含む)</p>																			
	<p>該当施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三川内幼稚園</td> <td>昭和51</td> </tr> <tr> <td>針尾幼稚園</td> <td>昭和48</td> </tr> <tr> <td>中里幼稚園</td> <td>昭和46</td> </tr> <tr> <td>世知原幼稚園</td> <td>昭和54</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 4 施設 ></p>	該当施設	建築年度	三川内幼稚園	昭和51	針尾幼稚園	昭和48	中里幼稚園	昭和46	世知原幼稚園	昭和54	<p>該当施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小佐々幼稚園</td> <td>昭和58</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 1 施設 ></p>	該当施設	建築年度	小佐々幼稚園	昭和58	<p>該当施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天神幼稚園</td> <td>昭和42</td> </tr> <tr> <td>白南風幼稚園</td> <td>平成15</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 2 施設 ></p>	該当施設	建築年度	天神幼稚園	昭和42	白南風幼稚園
該当施設	建築年度																					
三川内幼稚園	昭和51																					
針尾幼稚園	昭和48																					
中里幼稚園	昭和46																					
世知原幼稚園	昭和54																					
該当施設	建築年度																					
小佐々幼稚園	昭和58																					
該当施設	建築年度																					
天神幼稚園	昭和42																					
白南風幼稚園	平成15																					
コメント	<p>・築31～39年以上と老朽化が進行しており、改修工事などの検討が必要です。</p>	<p>・小佐々幼稚園は新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要です。</p>	<p>・天神幼稚園は平成22年度に大規模改修を実施しており、また、白南風幼稚園は比較的新しい施設のため、現状では特に問題がありません</p>																			

② 入所児童数・園児数の推移

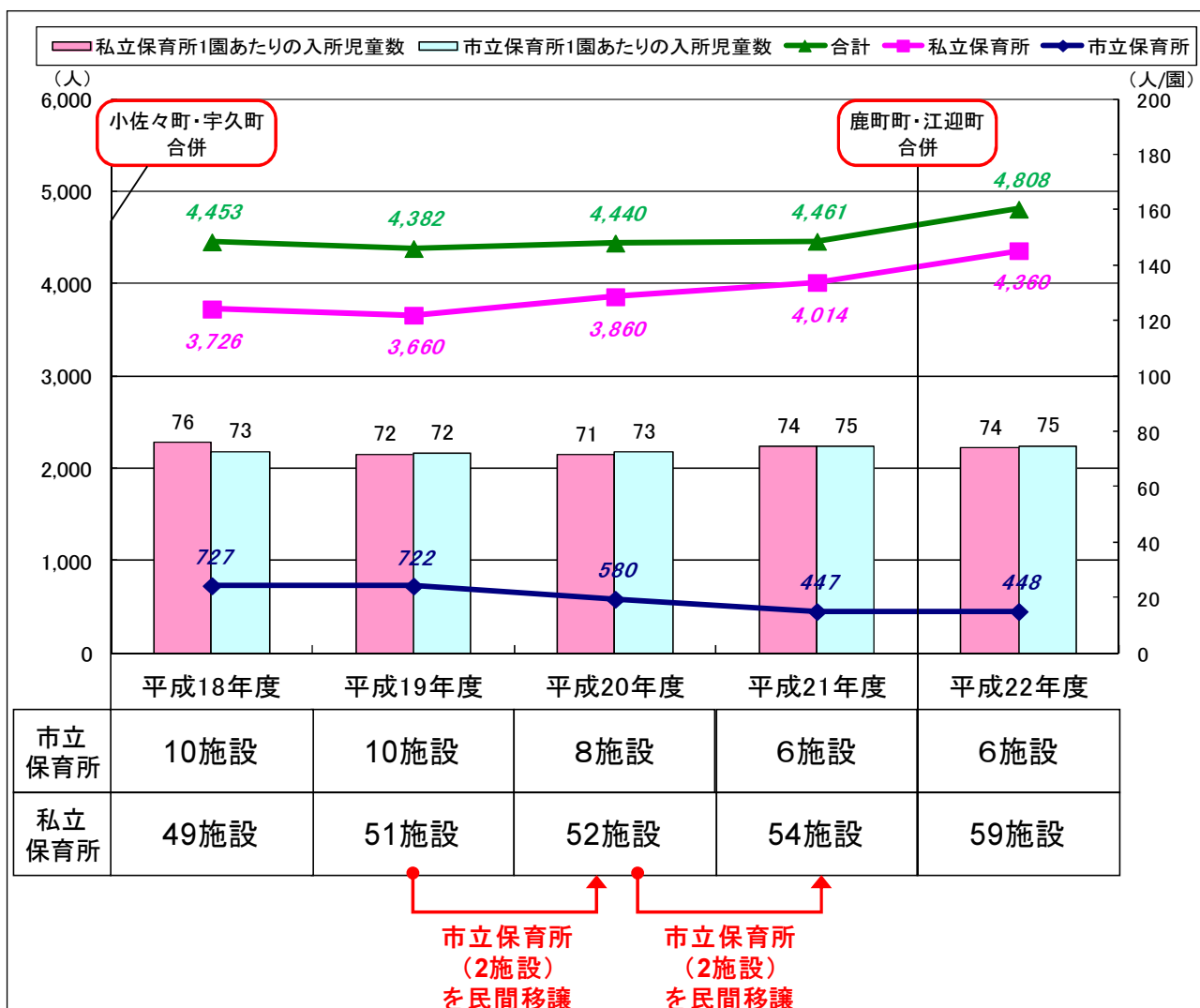
＜保育所＞（認可保育所を対象とし、へき地保育所は除く）

市立・私立保育所合わせた入所児童数は、平成18年度4,453人で、その後横ばいで推移していましたが、平成22年度は4,808人と、合併等により若干の微増傾向となっています。平成18年度と比較して、約8%増加しています。

この中で、平成19年度に2施設、平成20年度に2施設の市立保育所を民間移譲しているため、市立保育所の入所児童数は、平成18年度の727人から平成22年度の448人と約38%減少しています。一方、私立保育所の入所児童数は、平成18年度の3,726人から平成22年度の4,360人と約1.2倍増加しています。

1園当たりの入所児童数は、市立保育所は、平成18年度の73人から平成22年度の75人で、私立保育所は、平成18年度の76人から平成22年度74人とほぼ横ばいで推移しています。

図表 保育所の入所児童数の推移（各年4月1日時点）



<幼稚園>

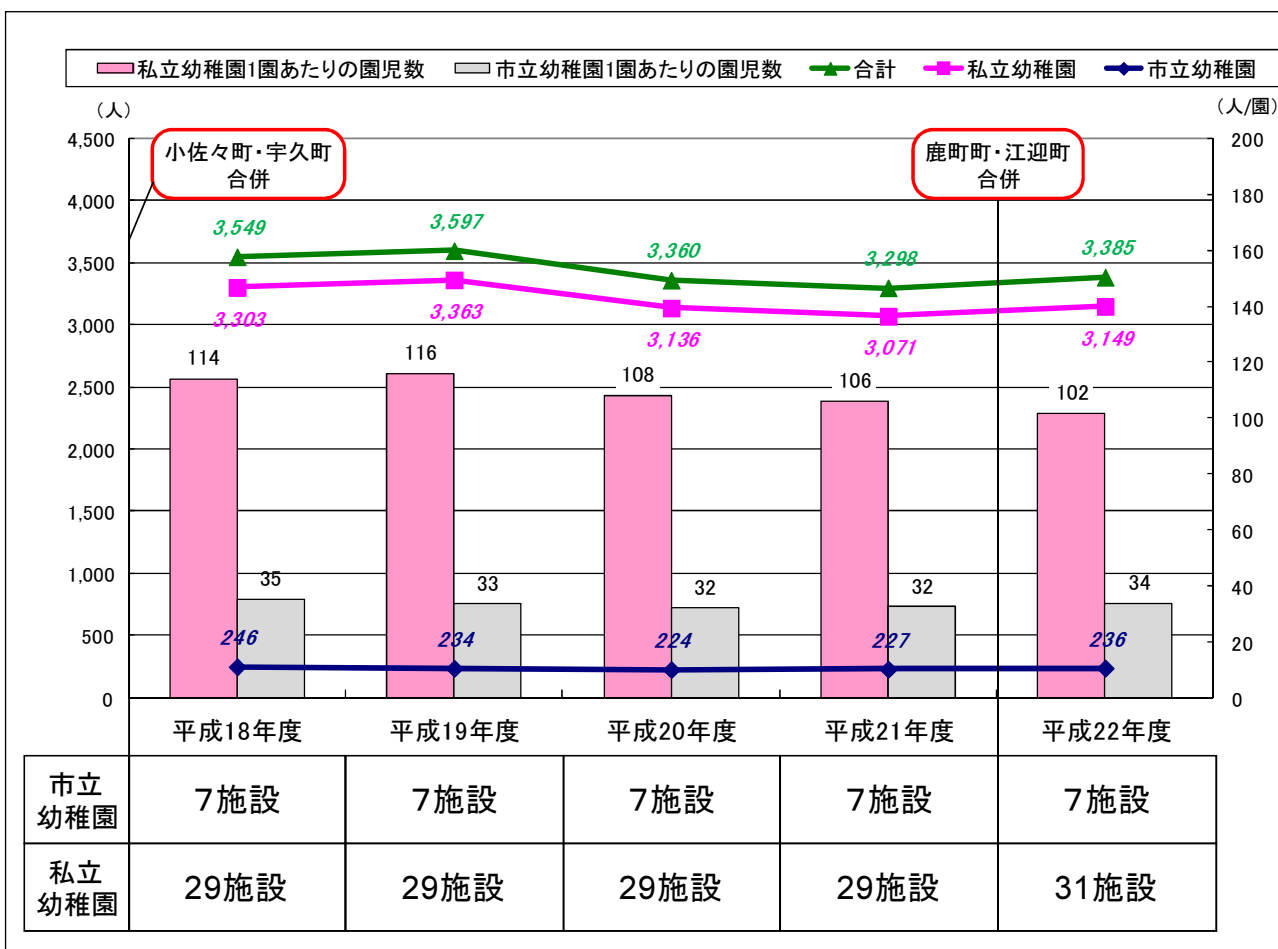
市立・私立幼稚園合わせた園児数は、平成18年度3549人で、その後微減傾向が続いており、平成22年度は3,385人で、平成18年度と比較して、約5%減少しています。

このうち、市立幼稚園の園児数は、平成18年度の246人から横ばいで推移しており、平成22年度は236人となっています。

私立幼稚園の園児数は、平成18年度の3,303人から平成22年度は3,149人と微減傾向となっています。

1園当たりの園児数は、市立幼稚園は、平成18年度の35人から平成22年度の34人で、私立幼稚園は、平成18年度の114人から平成22年度102人とほぼ横ばいで推移しています。

図表 幼稚園の園児数の推移（各年5月1日現在）



③ 運営時間

保育所の対象者は、0歳児から就学前までの子どもです。

市立保育所の保育時間は午前7時～午後6時まで、延長保育として午後7時半まで保育を実施しています。

私立保育所の保育時間は、早いところでは午前6時50分からで、最も遅いところでは午前2時まで保育を実施しています。一時保育は、59園中45園で実施しています。

幼稚園の対象者は、3歳児から就学前までの子どもです。開園日は、月曜日から金曜日です。

市立幼稚園の開園時間は、午前8時半～午後2時までとなっています。

私立幼稚園の開園時間は、主に午前8時半～午後2時までとなっています。私立幼稚園の一部には延長を行っている園もあります。

図表 運営時間（平成22年4月現在）

		7時	9時	14時	18時	19時半
市立保育所 (平均規模:642㎡) 対象年齢 1ヵ月～ (施設によって異なる) 開園日 月～土曜日 入所児童数 75人/施設 入所率 101%	3歳～5歳児		8:00		17:00	延長
	0歳～2歳児					延長
		基本11時間				
市立幼稚園 (7園) (平均規模:542㎡) 対象年齢 4歳児～ (白南風は3歳児～) 開園日 月～金曜日 入園児数 34人/施設 入園率 65%	3歳～5歳児					
		基本5時間半				

※市立保育所については、認可保育所を対象とし、へき地保育所は除く。

④ スペース構成と運営人員

■ 保育所

市立保育所（認可保育所）の1施設当たりの平均規模は642㎡、1施設当たりのスペース構成は乳児室、保育室、遊戯室、調理室、事務・職員室です。

市立保育所（認可保育所）の1施設当たりの運営人員は、園長が1人、保育士が10人～16人、看護師が0～1人、用務調理員が2～4人、その他1～7人で、1施設当たり19人～23人が従事しています。

へき地保育所の1施設当たりの平均規模は262㎡、1施設当たりのスペース構成は、保育室、遊戯室、職員室等です。1施設当たりの運営人員は2～3人となっています。

図表 スペース構成及び運営人員（平成22年4月現在）

認可定員 入所 児童数	スペース構成 (㎡)						運営 形態	運営人員					
	乳児室	保育室	遊戯室	調理室	事務・職員室	その他		園長	保育士	看護師	用務調理員	その他	合計
100人 99人	大黒保育所 乳児室 108 保育室 220 遊戯室 86 調理室 43 事務・職員室 91 その他 233 781.31						市直営	1	14	1	4	3	23
60人 66人	早岐保育所 乳児室 40 保育室 141 遊戯室 40 調理室 33 事務・職員室 47 その他 77 377.58							1	10	1	3	5	20
60人 67人	上相浦保育所 乳児室 44 保育室 182 遊戯室 82 調理室 32 事務・職員室 55 その他 200 608.31							1	10	1	3	7	22
60人 52人	吉井保育所 乳児室 85 保育室 155 遊戯室 134 調理室 28 事務・職員室 36 その他 186 623.23						公設民営 (委託)	1	13	1	2	2	19
75人 77人	楠栖保育所 乳児室 104 保育室 204 遊戯室 120 調理室 39 その他共用部等 266 759.66							1	16	0	3	1	21
90人 87人	小佐々保育所 乳児室 109 保育室 158 遊戯室 140 調理室 43 事務・職員室 43 その他 208 701.98							1	13	1	3	1	19
40人 10人	浅子保育所 保育室 70 調理室 121 210.66						指定管理	1	2	0	0	0	3
30人 11人	高島保育所 保育室 73 調理室 51 162.00							1	2	0	0	0	3
40人 11人	宇久ふたば 保育所 保育室 114 遊戯室 95 調理室 157 412.42							1	1	0	0	0	2



※運営人員には臨時職員を含みます。

※その他の人員は園児数に合わせて変動します。

※公設民営、へき地保育所の職員は委託先雇用であり、変動があります。

■ 幼稚園

市立幼稚園の1施設当たりの平均規模は542㎡、1施設当たりのスペース構成は保育室、遊戯室、事務・職員室です。

市立幼稚園の1施設当たりの運営人員は、教諭（一般職員）が2人～3人、教諭（臨時職員等）が0～3人、1施設当たり2人～6人が従事しています。

市立幼稚園全体の運営人員は25人、そのうち一般職員が17人、臨時職員等が8人となっています。

図表 スペース構成及び運営人員（平成22年4月現在）

認可定員 園児数	スペース構成 (㎡)				運営人員			
	保育室	遊戯室	事務・職員室	その他共用部等	教諭（一般）	教諭（臨時等）	合計	
35人 13人	184	120	68		432.00	2	0	2
35人 12人	98	20		224	372.00	2	1	3
70人 48人	192	96		216	552.00	3	1	4
85人 81人	126	198		258	647.00	3	3	6
70人 51人	124	150		218	528.00	3	2	5
35人 10人	104	206		241	603.00	2	1	3
35人 22人	180	91		357	663.00	2	0	2

□ 保育室 □ 遊戯室 □ 事務・職員室 □ その他共用部等

⑤ コスト状況

■ 保育所のトータルコスト

平成22年度の保育所の年間トータルコストは、6億7,356万円です。

その内訳は、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）が2,633万円（4%）、事業運営にかかるコスト（人件費・委託費・その他物件費等）が5億8,309万円（87%）、指定管理委託料3,354万円（5%）、減価償却相当額が3,061万円となっています。

図表 施設別行政コスト計算書（平成22年度）

（円）

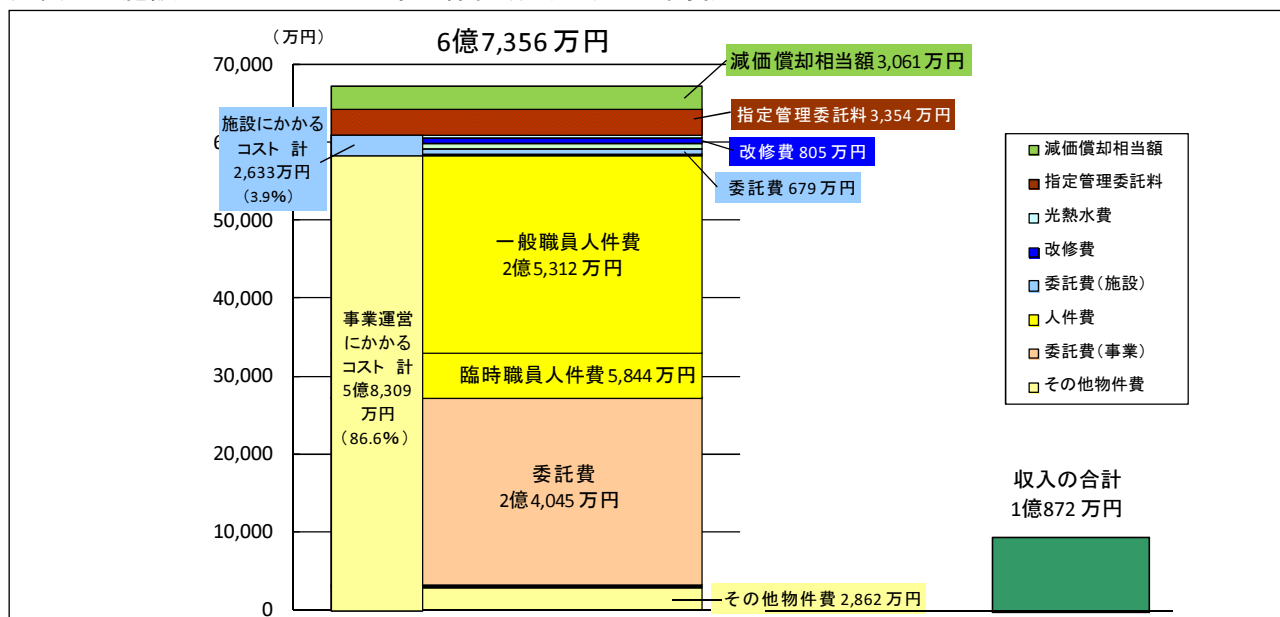
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		大黒保育所	早岐保育所	上相浦保育所	吉井保育所	楠栖保育所	小佐々保育所	浅子保育所	高島保育所	宇久ふたば保育所	合計
施設にかかるコスト	修繕費	826,125	395,655	593,870	57,257	154,560	439,740	150,000		150,000	2,767,207
	改修費	2,733,150	672,000	3,175,725		1,102,500	365,400				8,048,775
	光熱水費	2,966,464	2,055,375	2,091,027							7,112,866
	委託費	2,065,055	2,166,196	2,339,037				38,492	68,873	116,420	6,794,073
	使用料及び賃借料	326,947	326,947	326,946	624,343						1,605,183
	施設にかかるコスト計	8,917,741	5,616,173	8,526,605	681,600	1,257,060	805,140	188,492	68,873	266,420	26,328,104
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	114,310,000	73,485,000	65,320,000							253,115,000
	臨時職員人件費	11,688,754	17,533,132	29,221,886							58,443,772
	修繕費							150,000		150,000	300,000
	委託費				66,324,722	86,608,647	87,512,008				240,445,377
	車両・備品購入費	547,135	547,136	547,135							1,641,406
	負担金補助及び交付金	141,483	141,484	141,483	25,875	39,130	28,500				517,955
	その他物件費	9,477,071	9,477,069	9,477,067	13,767	93,674	18,704	10,153	11,327	46,045	28,624,877
	事業運営にかかるコスト計	136,164,443	101,183,821	104,707,571	66,364,364	86,741,451	87,559,212	160,153	11,327	196,045	583,088,387
指定管理委託料							11,264,000	12,542,000	9,737,000	33,543,000	
現金収支を伴うコスト計	145,082,184	106,799,994	113,234,176	67,045,964	87,998,511	88,364,352	11,612,645	12,622,200	10,199,465	642,959,491	
【収入の部】											
収入	分担金及び負担金(収入)	24,106,850	19,548,820	19,321,390	11,386,770	15,814,090	18,543,070				108,720,990
収入の合計		24,106,850	19,548,820	19,321,390	11,386,770	15,814,090	18,543,070				108,720,990
II. 現金収支を伴わないもの											
コスト	減価償却相当額	5,156,646	2,492,028	4,014,846	4,113,318	5,013,756	4,633,068	1,390,356	1,069,200	2,721,972	30,605,190
III. 総括											
コストの部合計(トータルコスト)		150,238,830	109,292,022	117,249,022	71,159,282	93,012,267	92,997,420	13,003,001	13,691,400	12,921,437	673,564,681
収支差額(ネットコスト)		126,131,980	89,743,202	97,927,632	59,772,512	77,198,177	74,454,350	13,003,001	13,691,400	12,921,437	564,843,691

※コスト計算は、市外入所児童（受託）を除いています。

※公設民営、へき地保育所の人件費、光熱水費は委託費より委託先の支出となります。

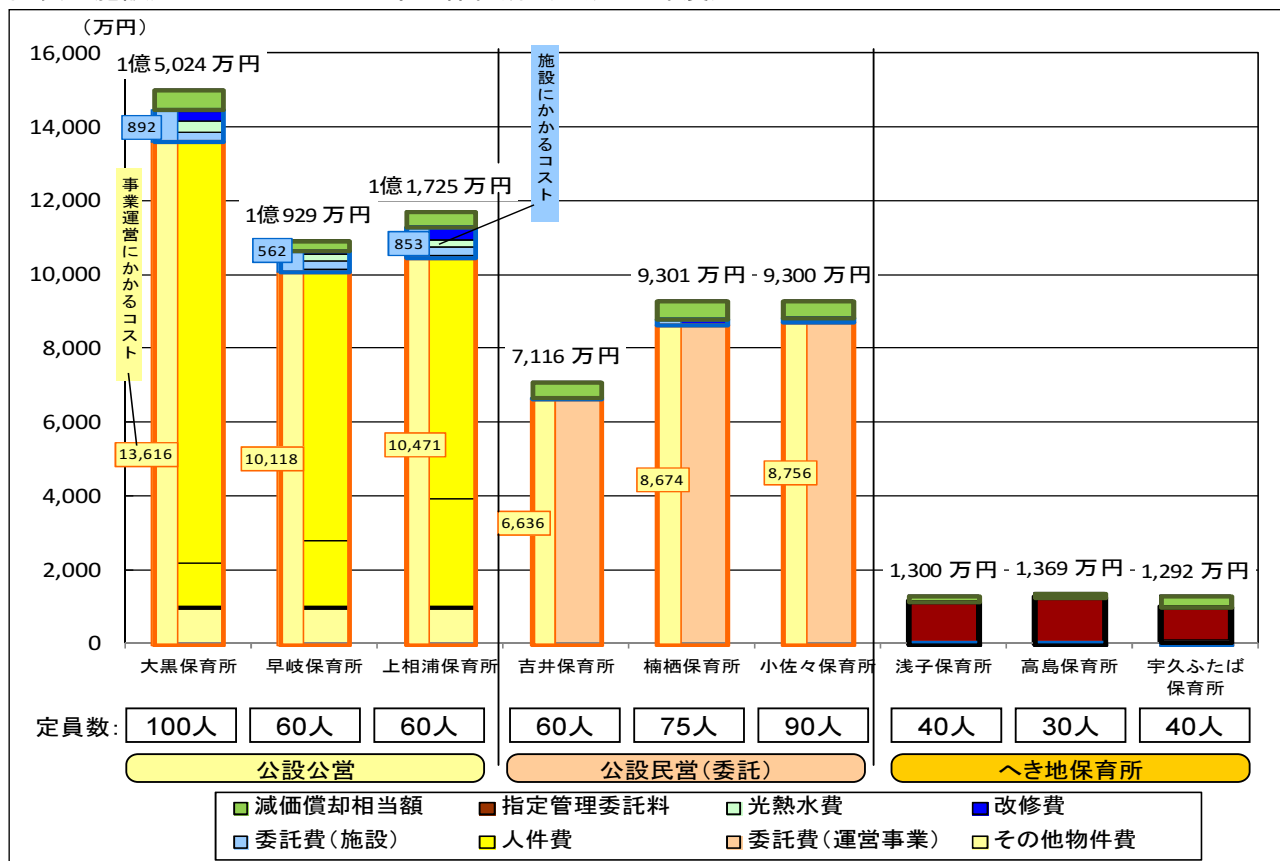
トータルコストのうち、人件費の合計は、3億1,156万円でトータルコストの約46%を占めています。

図表 全施設トータルコスト 市立保育所（平成22年度）



保育所別のトータルコストでは、市直営（公設公営）の3施設は約1億1,100万円～約1億5,000万円となっており、市職員人件費を中心としたコスト構成となっています。公設民営（委託）の3施設は、約7,000万円～9,300万円となっており、委託費を中心としたコスト構成となっています。へき地保育所は3園とも1,300万円前後で指定管理委託料が中心のコスト構成となっています。

図表 施設別トータルコスト 市立保育所（平成22年度）



■ 幼稚園のトータルコスト

平成22年度の幼稚園の年間トータルコストは、2億2,751万円です。

その内訳は、施設にかかるコスト（修繕費・光熱水費等）が3,584万円（16%）、事業運営にかかるコスト（人件費・修繕費・その他物件費等）が1億6,661万円（73%）、減価償却相当額が2,506万円となっています。

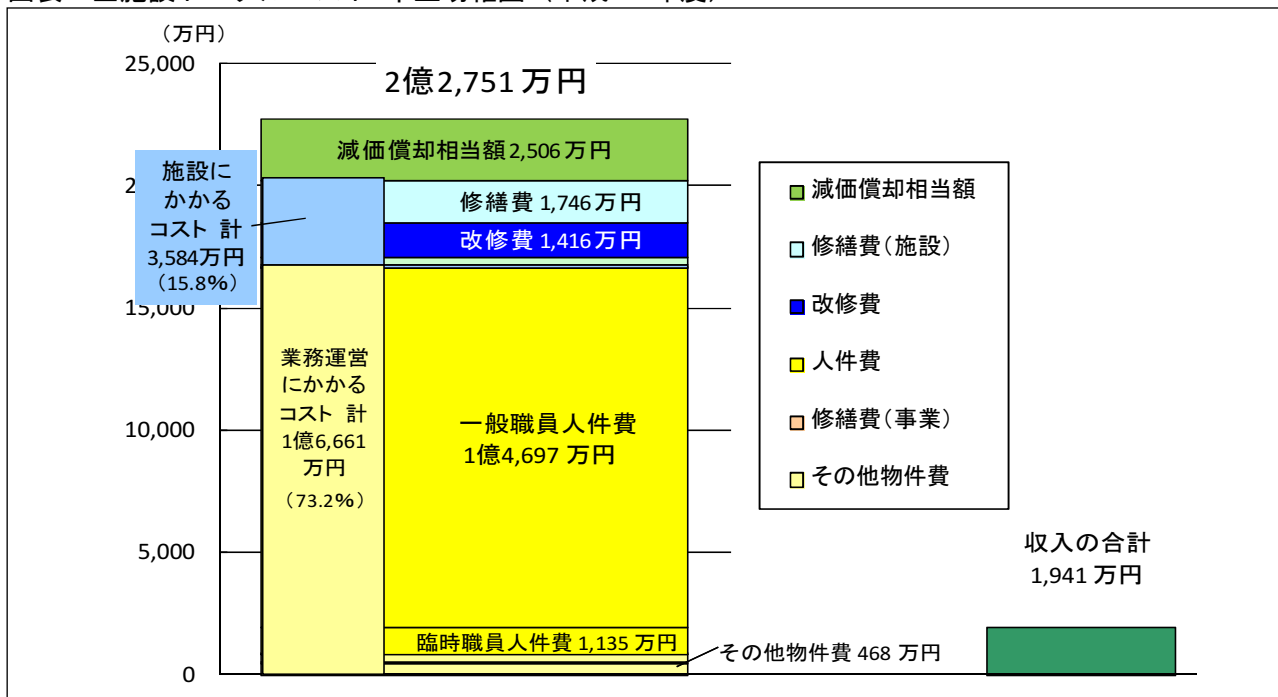
図表 施設別行政コスト計算書（平成22年度）

（円）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		三川内幼稚園	針尾幼稚園	天神幼稚園	白南風幼稚園	中里幼稚園	世知原幼稚園	小佐々幼稚園	合計
施設 コスト にか かる	修繕費	1,082,100	1,849,785	7,609,140	518,858	2,843,630	1,071,735	2,481,150	17,456,398
	改修費			14,164,500					14,164,500
	光熱水費	242,592	160,345	413,001	1,140,977	234,580	279,271	435,021	2,905,787
	委託費	25,600	25,600	126,344	464,576	123,531	231,292	306,192	1,303,135
	使用料及び賃借料						10,000		10,000
	施設にかかるコスト 計	1,350,292	2,035,730	22,312,985	2,124,411	3,201,741	1,592,298	3,222,363	35,839,820
事業 運営 にか かる コスト	一般職員人件費	16,330,000	16,330,000	24,495,000	32,660,000	24,495,000	16,330,000	16,330,000	146,970,000
	臨時職員人件費	467,795	1,233,270	1,659,800	3,981,130	2,628,060	1,211,075	167,495	11,348,625
	修繕費		16,695	4,200		15,000	25,750	7,200	68,845
	使用料及び賃借料	249,600	395,130	494,100	635,550	457,900	272,300	281,850	2,786,430
	車両・備品購入費	71,200	34,710	308,800	113,190	79,800	79,000	77,700	764,400
	その他物件費	412,567	548,855	728,944	1,112,100	721,200	579,743	572,016	4,675,425
	事業運営にかかるコスト 計	17,531,162	18,558,660	27,690,844	38,501,970	28,396,960	18,497,868	17,436,261	166,613,725
指定管理委託料									
現金収支を伴うコスト 計	18,881,454	20,594,390	50,003,829	40,626,381	31,598,701	20,090,166	20,658,624	202,453,545	
【収入の部】									
収入	分担金及び負担金(収入)	1,146,600	982,800	3,767,400	6,470,100	4,095,000	1,065,500	1,883,700	19,411,100
収入の合計		1,146,600	982,800	3,767,400	6,470,100	4,095,000	1,065,500	1,883,700	19,411,100
II. 現金収支を伴わないもの									
コスト	減価償却相当額	2,851,200	2,455,200	3,643,200	4,270,200	3,484,800	3,979,800	4,375,800	25,060,200
III. 総括									
コストの部合計(トータルコスト)		21,732,654	23,049,590	53,647,029	44,896,581	35,083,501	24,069,966	25,034,424	227,513,745
収支差額(ネットコスト)		20,586,054	22,066,790	49,879,629	38,426,481	30,988,501	23,004,466	23,150,724	208,102,645

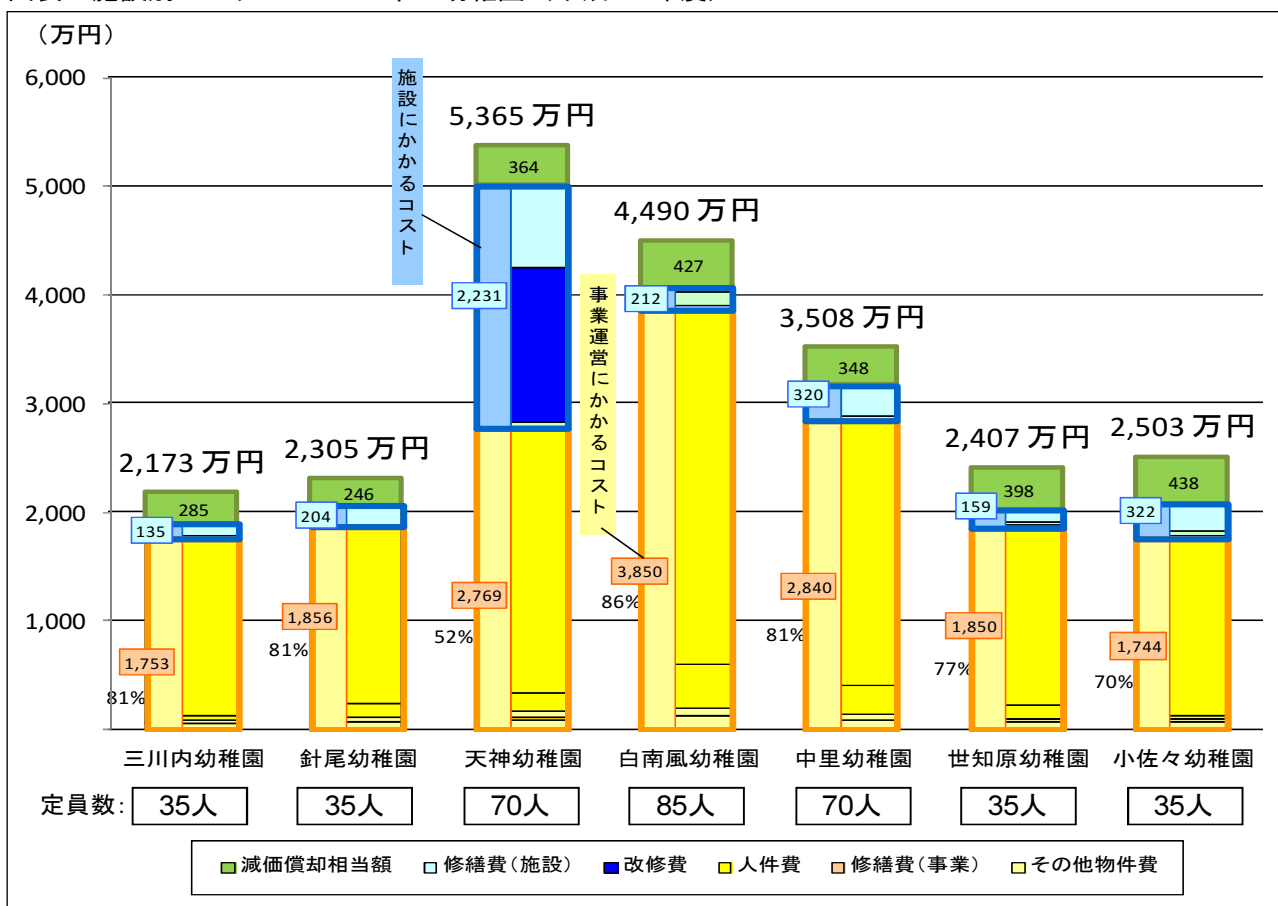
トータルコストのうち、一般職員・臨時職員人件費等人件費は合計 1 億 5,832 万円（70%）となっています。

図表 全施設トータルコスト 市立幼稚園（平成 22 年度）



幼稚園別のトータルコストでは、三川内幼稚園の 2,173 万円～天神幼稚園の 5,365 万円となっています。

図表 施設別トータルコスト 市立幼稚園（平成 22 年度）



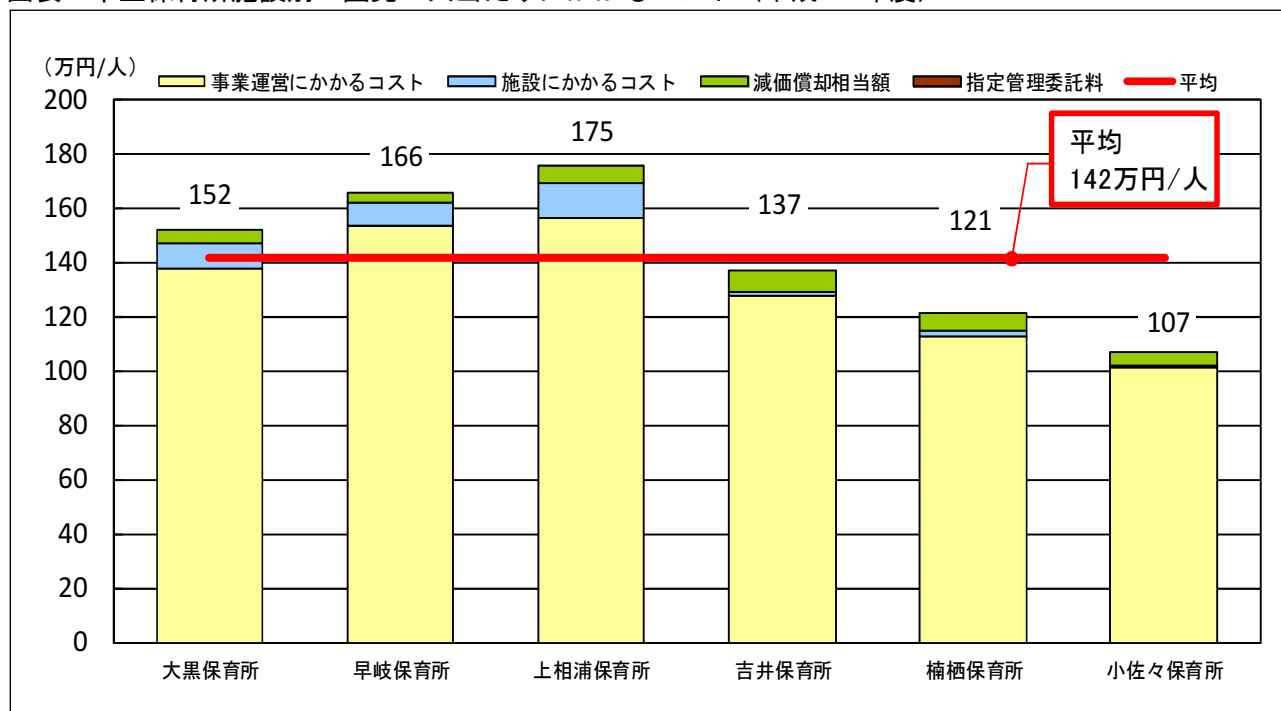
3) 評価・分析

■ 入所児童・園児 1 人当たりにかかるコスト

<保育所>（認可保育所を対象とし、へき地保育所を除く）

入所児童 1 人当たりにかかるコストを算出すると、小佐々保育所の 107 万円～上相浦保育所の 175 万円となっています。保育園児 1 人当たりの平均は 142 万円です。

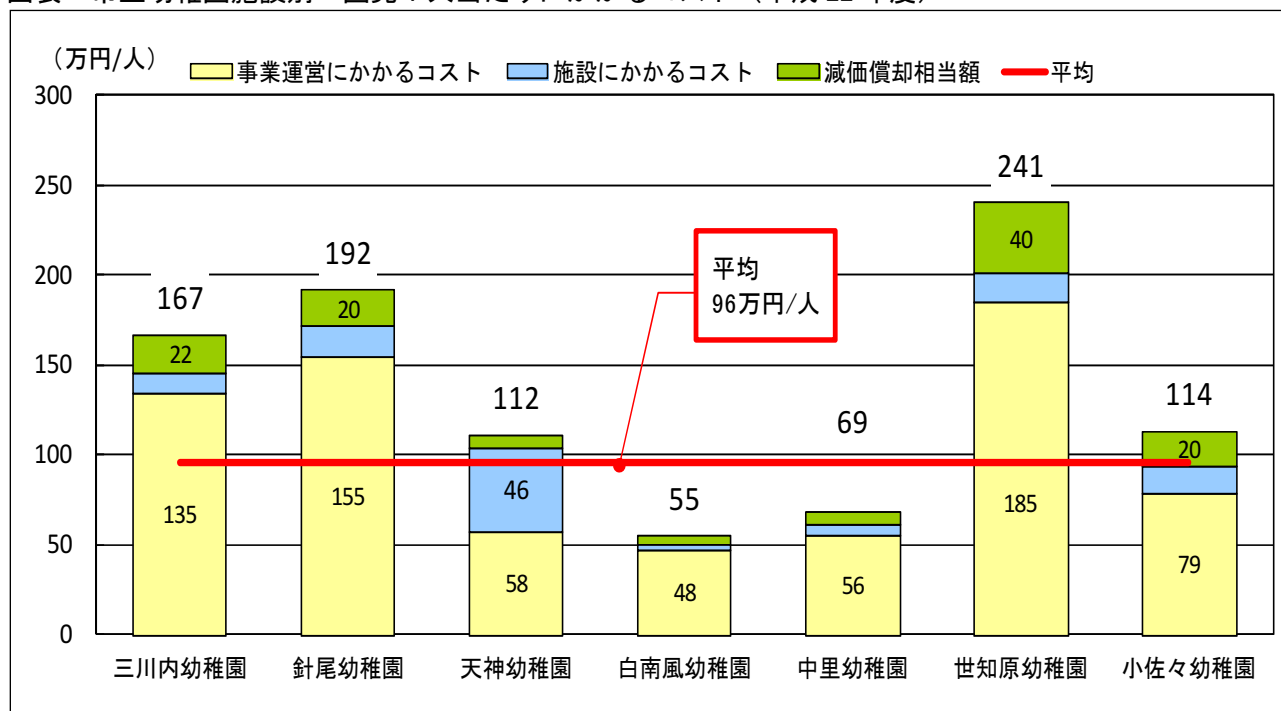
図表 市立保育所施設別 園児 1 人当たりにかかるコスト（平成 22 年度）



<幼稚園>

園児 1 人当たりにかかるコストを算出すると、白南風幼稚園の 55 万円～針尾幼稚園の 241 万円となっています。幼稚園児 1 人あたりの平均は 96 万円です。

図表 市立幼稚園施設別 園児 1 人当たりにかかるコスト（平成 22 年度）



4) 今後の検討の視点

- 施設によっては老朽化が進み、早急な対策が必要です。また、築30年以上経過した建替えや大規模改修工事の検討が必要な施設も複数存在することから、人口減少等の取り巻く環境の変化を考慮した検討が必要になります。

今後、公設民営の3保育所は民間移譲する予定であり、また、子ども未来部では子ども・子育て新システム導入を受け、引き続き、保育環境整備等についても更に検討を行っていく必要があります。

- また、今後もニーズの変化に柔軟に対応できるよう地域のニーズにあった延長保育等を実施するとともに、民間活力の積極的な活用を図る必要があります。

（3）付随施設（子育て支援施設）

1）施設概要

① 施設一覧

本市では、子育て支援サービスとして、子育てに関する相談窓口・講座等開催を行う地域子育て支援センター、幼児教育に関する相談窓口・研修会開催を行う幼児教育センターがあります。また、幼児教育センターは、平成24年度より子育て支援センター機能となっています。

図表 設置目的

施設名	設置目的
地域子育て支援センター	地域の子育て家庭の支援に携わり児童福祉の推進を図るため
幼児教育センター	乳幼児の健全な育成を目指し、幼児教育の充実推進及び子育て支援等に資するため（平成24年度から子育て支援センター）

図表 施設一覧

施設名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	備考
1 佐世保市中部子育て支援センター	稲荷町2番25号	79.74	昭和56	大黒保育所内
2 佐世保市東部子育て支援センター	早岐一丁目5番21号	323.24	昭和41	早岐保育所内
3 佐世保市北部子育て支援センター	上相浦町5番13号	47.80	昭和55	上相浦保育所内
4 幼児教育センター	山祇町387番地	559.11	平成15	白南風幼稚園と併設
合 計		1,009.89		

※ふれあいセンター（花園町）内にある子ども発達センターにおいても、地域子育て支援センター事業を行っています。

② 事業内容

図表 事業内容

サービス名	事業内容
地域子育て支援センター	子育てに関する不安や悩み等について、保育士の立場からの相談子育てや子育て支援に関する講座の開催
幼児教育センター	乳幼児の健全な育成を目指し、幼児教育の充実推進及び子育て支援等に資する

③ 運営時間・運営日数

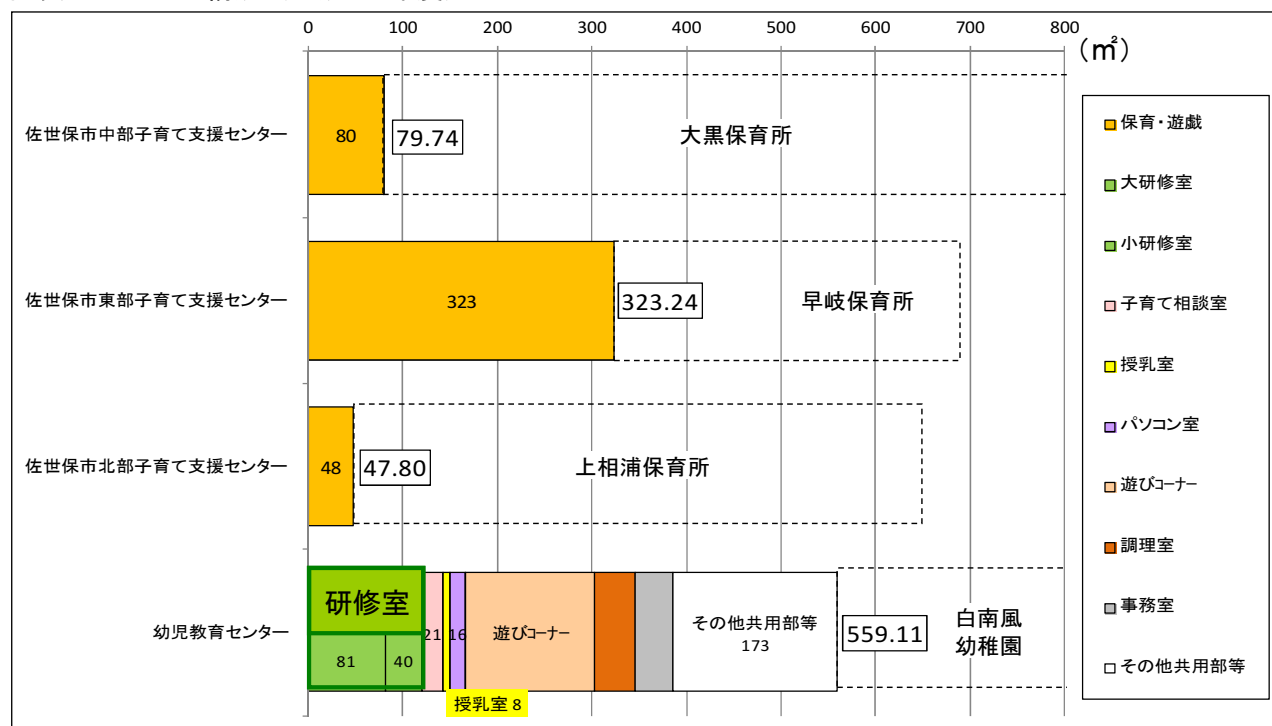
	運営時間	休館日	運営日数
地域子育て支援センター	午前 8 時 30 分～ 午後 1 時	日曜日・祝日 年末年始	240 日 (平成 22 年度)
幼児教育センター	午前 8 時 15 分～ 午後 5 時	土曜日・日曜日 祝日・年末年始	243 日 (平成 22 年度)

④ スペース構成

各地域子育て支援センターは、在宅で子育て中の方が、主に利用する施設です。

幼児教育センターは、研修会等を行う研修室を中心に、他に幼児とその保護者が遊べる遊びコーナー、子育て相談室等を備えた施設となっています。

図表 スペース構成（平成 22 年度）



2) 実態把握

① 利用状況

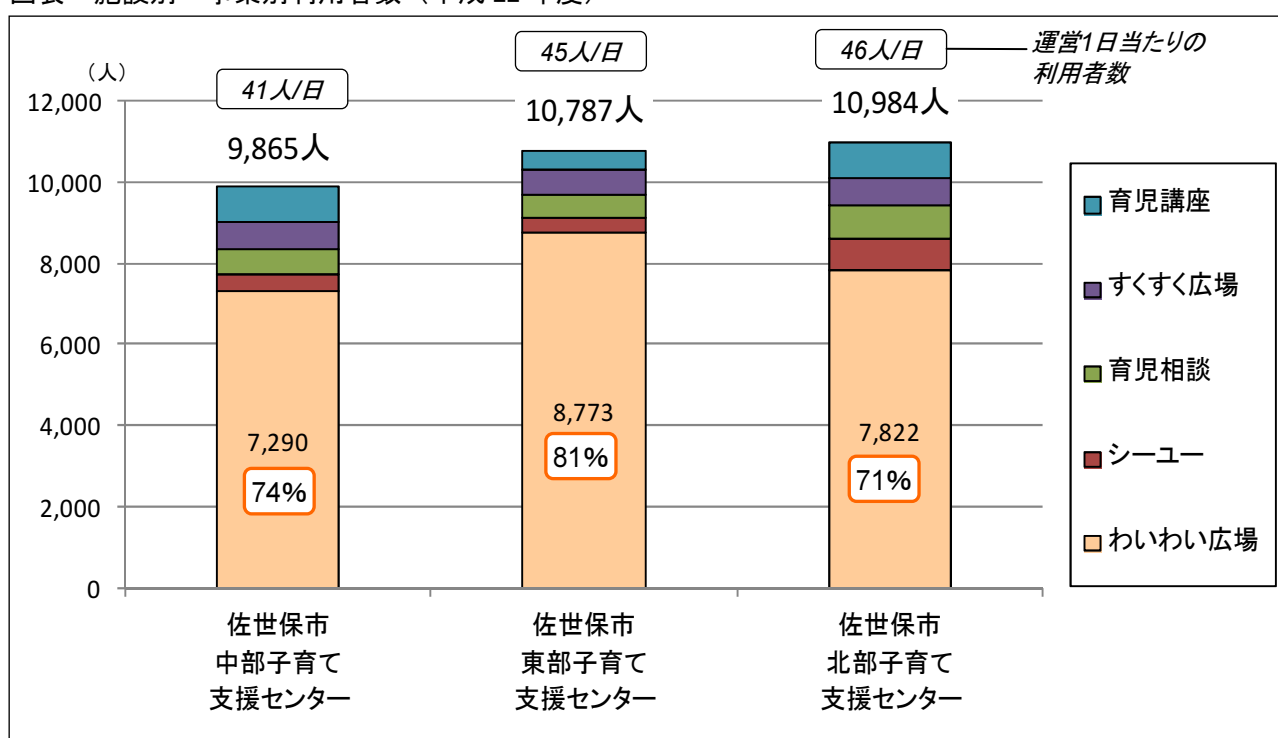
■ 地域子育て支援センター

地域子育て支援センター内では、就学前児童とその親子が自由に遊べる場として「わいわい広場」、保育士が遊びを通して子育ての楽しさを提供する「シーユー」、育児相談、小集団保育「すくすく広場」、育児講座等の支援事業を行っています。

各施設の全事業の年間利用者数をみると、中部子育て支援センターの9,865人（1日当たり約41人）から北部子育て支援センター1万984人（1日当たり約46人）となっています。

事業別にみると、3施設とも、わいわい広場の利用者が全体の70%以上を占めています。

図表 施設別・事業別利用者数（平成22年度）



■ 幼児教育センター

幼児教育センターの利用状況を、幼児教育センターきらきら広場利用者数及び相談件数で把握します。

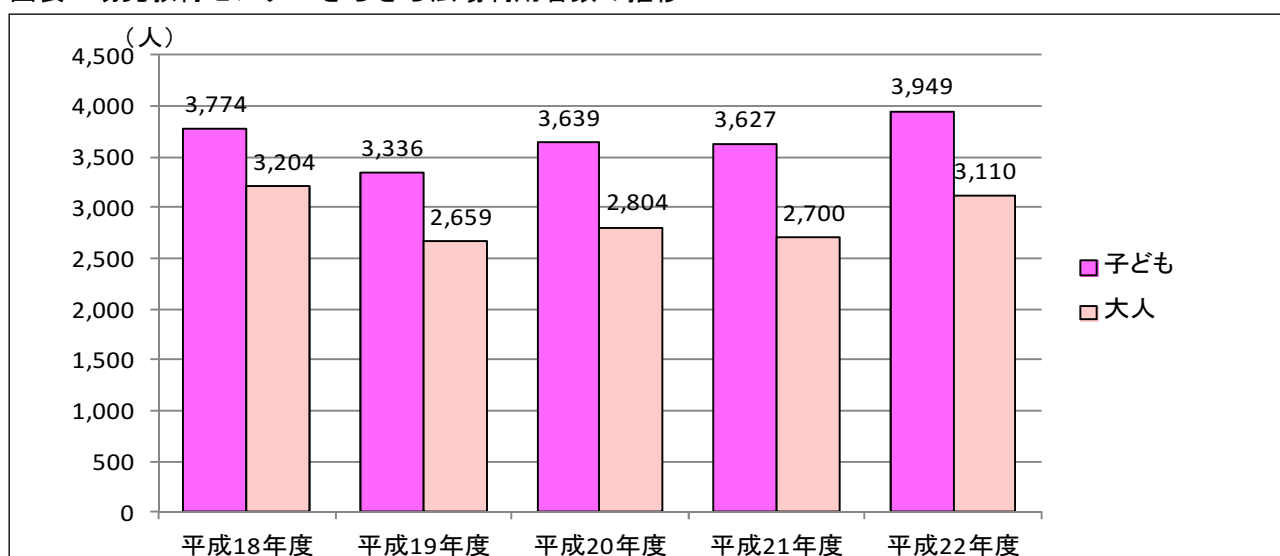
平成22年度のきらきら広場利用者数は7,059人、うち子どもが3,949人、大人が3,110人です。

きらきら広場利用者数の推移をみると、平成18年度以降は子ども大人共に横ばいとなっています。

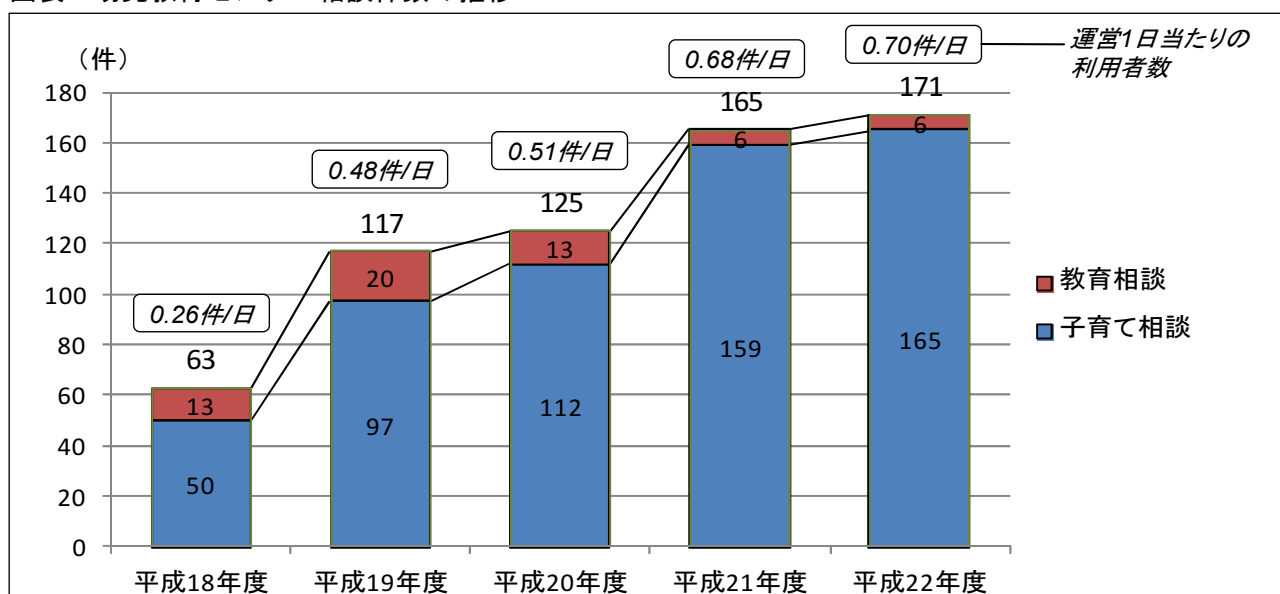
平成22年度の相談件数は、子育て相談、教育相談合わせて171件です。

相談件数の推移をみると、全体の相談件数は常に増加傾向となっています。

図表 幼児教育センターきらきら広場利用者数の推移



図表 幼児教育センター相談件数の推移



② 運営状況

■ 運営人員

地域子育て支援センター3施設及び幼児教育センターは、市の直営です。各地域子育て支援センターには、保育士（一般職員及び臨時職員）が3人から4人従事しています。幼児教育センターは、一般職員4人、臨時職員3人の計7人が従事しています。

図表 運営人員（平成22年度）

（人）

		佐世保市中部 子育て支援 センター	佐世保市東部 子育て支援 センター	佐世保市北部 子育て支援 センター	幼児教育 センター	合 計	
運営形態		直営	直営	直営	直営		
施設 維持 管理等	直営	一般職員	2.0	2.0	3.0	4.0	11.0
		臨時職員	1.0	1.0	1.0	3.0	6.0
		計	3.0	3.0	4.0	7.0	17.0

③ コスト状況

地域子育て支援センターは、中部子育て支援センターが2,862万円、東部子育て支援センターが3,023万円、北部子育て支援センター3,659万円と、ほぼ同程度となっています。

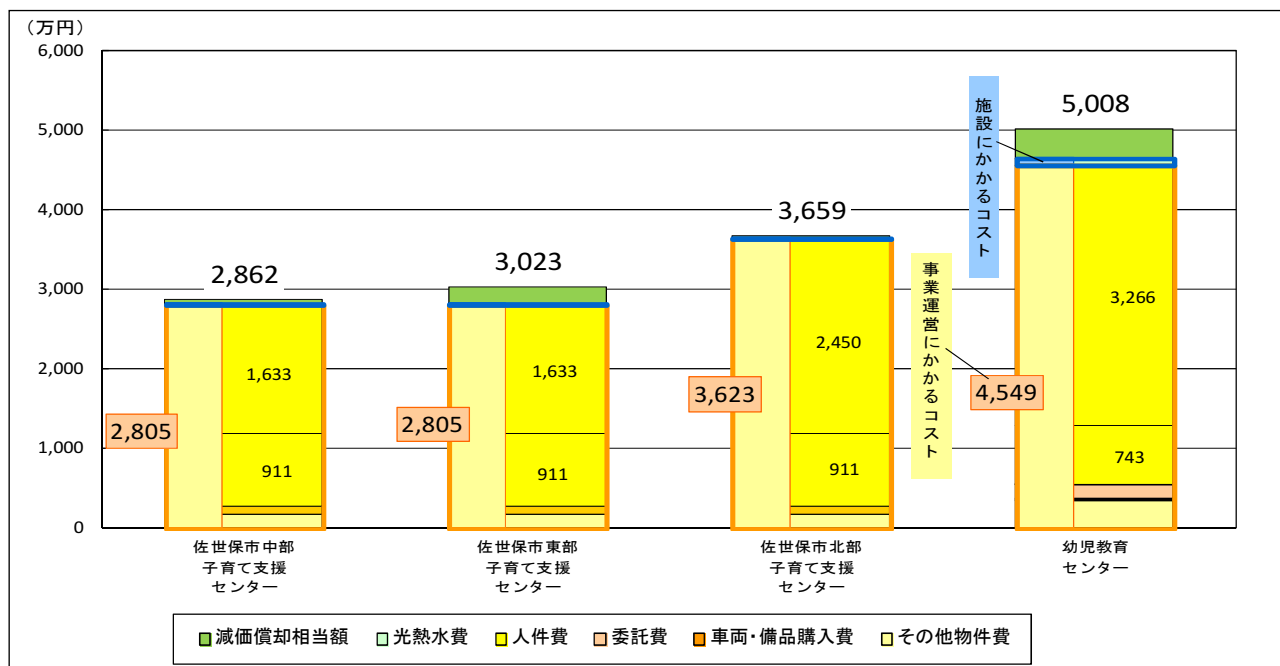
幼児教育センターの年間トータルコストは、5,008万円です。そのうち事業運営にかかるコスト（人件費、委託費等）が4,549万円と約91%を占めています。

図表 施設別行政コスト計算書（平成22年度）（円）

I 現金収支を伴うもの 【コストの部】		佐世保市中部 子育て支援 センター	佐世保市東部 子育て支援 センター	佐世保市北部 子育て支援 センター	幼児教育 センター	合計
施設にかかる コスト	修繕費					
	改修費					
	光熱水費	31,441	31,440	31,440	900,000	994,321
	委託費	13,860	13,860	13,860		41,580
	使用料及び賃借料					
	施設にかかるコスト	45,301	45,300	45,300	900,000	1,035,901
事業運営に かかるコスト	一般職員人件費	16,330,000	16,330,000	24,495,000	32,660,000	89,815,000
	臨時職員人件費	9,114,813	9,114,811	9,114,811	7,425,093	34,769,528
	修繕費	1,668	1,666	1,666	120,750	125,750
	委託費				1,613,205	1,613,205
	使用料及び賃借料			820	115,634	116,454
	車両・備品購入費	951,120	951,120	951,120	134,450	2,987,810
	負担金補助及び交付金	2,000	2,000	2,000		6,000
	その他物件費	1,650,679	1,650,673	1,662,073	3,420,707	8,384,132
	事業運営にかかるコスト	28,050,280	28,050,270	36,227,490	45,489,839	137,817,879
現金収支を伴うコスト 計		28,095,581	28,095,570	36,272,790	46,389,839	138,853,780
【収入の部】						
収入	諸収入	28,400	23,800	25,600	45,200	123,000
収入の合計		28,400	23,800	25,600	45,200	123,000
II 現金収支を伴わないもの						
コスト	減価償却相当額	526,284	2,133,384	315,480	3,690,126	6,665,274
III 総括						
コストの部合計（トータルコスト）		28,621,865	30,228,954	36,588,270	50,079,965	145,519,054
収支差額（ネットコスト）		28,593,465	30,205,154	36,562,670	50,034,765	145,396,054

※人件費について施設維持、事業運営といった区分けができないため事業運営にかかるコストとしてまとめています。

図表 施設別トータルコスト（平成22年度）



3) 今後の検討の視点

- 子どもが減少する中、事業を実施する際は、各施設での事業に対する市民ニーズ等を適切に把握しながら、効果的な事業を実施し、利用向上を図る必要があります。